

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

No. 28
2017.Apr.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『しじま』 瓜生 香苗（2011年専攻科造形専攻修了）

コスチューム姿の女性をバランスの良く雰囲気のある立ち姿に表現した作品です。
粘土のタッチを生かした布の肉付けと造形が女性の微妙な心情と重なります。

Contents

- ① 新入生にすすめるこの一冊
- ② 視聴覚室へ行こう！
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 2016年度ベストリーダー
- ⑥ 図書館のお宝紹介

新入生にすすめるこの一冊



美術科

於保 政昭

先生

『もこもこもこ』

たにかわしゅんたろう/さく
もとながさだまさ/え
726.6/Ta88

「具体美術協会」(具体)は、吉原治良をリーダーとして1954年にできた戦後日本屈指の前衛芸術グループ。「人のまねをするな」の吉原治良のポリシーのもと描画方法を間接化した絵画、パフォーマンス、音や光のメディアを使った体験型作品など、ラディカルで斬新な作品制作によって国際的に活躍し、現在では日本の現代美術を代表する国際的動向に位置づけられている。この絵本はその具体美術協会に参加した元永定正さんの絵だ。元永さんの作風は作者が完全にはコントロールできない偶然性を利用しながら、ただ偶然に任せるのではなく、偶然と意図のバランスをとりながら画面に何らかの「かたち」を作りだします。私は大人になってからこの絵本を読みました。前衛の作家が描いたこの絵本は大人にとっては「変な絵本」。おおらかでユーモラスにも見える「かたち」に谷川俊太郎さんの文章が、言葉のリズムを作り出すことで「わけのわからないもの」に創造のエネルギーを掻き立てられる作品。元永さんがよく言っていた「型にはまったものはダメやね。誰もやったことのないものを作らんと」。具体の「人のまねをするな」に通じている。新しいものは、変なもの。不安も生む。これから大人になるタイミングに出会って欲しい一冊。

(おほ まさあき/メディアデザイン)



音楽科

愛甲 久美

先生

『聖書物語 旧約編 新約編』

香山彬子 著 193/Ka98/1~2

最近世界では各地でテロが起き緊張が高まっています。宗教からおこる紛争と言われても、お正月には初詣をし、お盆にはお墓参り、クリスマスにはケーキを食べると各宗教について寛容な(悪く言えば節操がない?)私たち日本人にはなかなかピンとこないものですが、オーストリアに留学時、当時まだひとつの国だった隣国が宗教と民族の違いから戦争し、クロアチア、スロベニア、セルビア、ボスニアの4国へ分裂していくのを目の当たりにしてその根の深さを感じました。私の専門であるクラシックの音楽作品には宗教的な題材が多く含まれ、キリスト教徒でない私には理解が難しいことも多々あり、これは聖書を読んで理解せねばと思いましたが本物の聖書は1700ページに及ぶ大著で読むのもひと苦勞。そこで今回お薦めの図書です。聖書の内容がわかり易くまとめてあり、西洋文化の理解に役立つ上、特に旧約を読むと今の世界の紛争の根っこも少し理解できるのではと思います。

(あいこう くみ/音楽)





『ダイバーシティ』

山口一男 著 913.6/Y24

国際総合学科
光野 百代

先生

留学から戻って日本社会で生活の再スタートを切っていたある日、私は何だか疲れてやる気がなく、足を投げ出してお菓子を食べながら一日過ごしていました。その時何となく手に取って読み始めたのが、この本です。この状態でそのまま一日が過ぎてゆく夕方には、私はよく無念な気持ちになりますが、この日は世界が素晴らしく見えました。

この本は「社会科学的ファンタジー」と「日米教育劇」の2つのフィクションで構成されています。前半は主人公が魔法使いに望みをかなえてもらうために旅に出る話です。旅先で出会う人は全員変わっていて、まるで現実の社会とそっくりです。しかし、そんな社会を生き抜く、といったテーマの本ではありません。むしろ冒険ファンタジーとなぞなぞが好きな人にはぴったりの本です。前半を読み終えたら、後半に進みましょう。英語圏の学校の授業風景が楽しめます。

誰でも気軽に読めるように創られた本ですが、これから学生生活を始める新入生、就職活動を始めたばかりの2年生、学生生活や毎日がつまらなく感じる人、特にこの本をお勧めします。これまで見えていたしんどい現実にもっと積極的に関わっていける新しい目を与えてくれると思います。

(みつの ももよ/社会学)



『イン・ザ・プール』

奥田英朗 著 913.6/O54

情報コミュニケーション学科

藤田 文

先生

「笑う門には福来る」。私の好きな言葉です。なんでも大笑いしながら、乗り越えられるといいなあと思います。でも実際には、〇〇恐怖症、〇〇不安症、〇〇依存症・・・など様々な心の問題を抱える人たちがたくさんいます。それほど深刻でなくても、いろんなことが気になっちゃって、心配になっちゃって、「あーもうー」ってイライラしたり、「はあ〜」ってめいっちゃったり・・・そんなことがよくあるものです。新入生の皆さんも大学生生活に慣れるのに大変なこともあるでしょう。

私が紹介するこの小説は、伊良部一郎という精神科医が、神経科を訪れる人々を治療していく物語です。色白で太ったこのお医者さんは、「いらっしゃーい」と甲高い声で患者さんを迎え、色っぼい看護師さんが打つ注射を興奮して眺め、極端なことを「しれっと」言う変な人です。変わった患者さんよりもっと変わったお医者さんという構図が、笑いを誘います。

心理カウンセラーの在り方を深く考えさせられる本・・・ではありません。気楽に読んで、人間って面白いなあと思っていただければ幸いです。

「空中ブランコ」(直木賞受賞作)と「町長選挙」という伊良部先生シリーズがあるのでこちらもあわせてどうぞ。

(ふじた あや/発達心理学)



視聴覚室へ 行こう！

～音楽科 林満理子先生おすすめのディスク～

「LA BOHEME (PUCCINI)」

ザルツブルク音楽祭2012



私が今回ご紹介したいのは、イタリアを代表する作曲家プッチーニの歌劇『ラ・ボエーム』です。この作品は1893年～1895年にかけて作曲され、100年以上たった今でも世界中で愛され上演されています。

舞台は1830年頃のパリ。若き芸術家の男たち4人は生活を共にし、その日暮らし。貧しくも自由気ままに暮らしています。クリスマス・イブの夜に詩人のロドルフォはお子の子のミミに出会い、恋に落ち、数ヶ月後にはミミの病気が発覚。最終的にはミミの死によってドラマの幕が下ります。悲しいストーリーではありますが、登場人物の喜怒哀楽がプッチーニの魅力たっぷりの音楽で終始表現され、物語を生き生きとさせています。

見所は第1幕のミミとロドルフォの出会いのシーン、華やかな第2幕など挙げきれないのですが、特に第3幕の四重唱はオペラならではの面白さがあります。病気だと分かったミミがロドルフォとの別れを決意し、「春になったら別れましょう」と切なく歌う横で、もう1組の恋人が喧嘩をします。相反する状況の2組のカップルの会話が音楽的で素晴らしい四重唱になってしまうのはプッチーニの成せる業です。そして私がどの演奏を聴いても引き込まれてしまうのは、第4幕でロドルフォと二人きりになったミミが、死を前に彼への愛を告げ、出会った日の思い出を美しく歌う場面です。ミミが最後の力を振り絞って命の炎を真っ赤に燃え上がらせるようなこの場面は、あまりの悲しさに胸が引き裂かれそうになります。

『ラ・ボエーム』はDVDとして数多く残されています。演出は1830年台の設定を忠実に守ったオーソドックスなものや、現代風にアレンジしているものなどがありますが、ストーリーが大変親しみやすいので、どれをとっても楽しめます。友情と愛、別れといった誰もが自分の体験と重ねることができる物語は、オペラ初心者の方にもおすすめです。また、プッチーニの作品には日本を舞台にした『蝶々夫人』や、「誰も寝てはならぬ」が含まれている『トゥーランドット』など馴染みやすいオペラが多いので、是非この機会に鑑賞してみたいはいかがでしょうか。

(はやし まりこ/声楽)



視聴覚室利用ガイド

開室時間 12:30～19:00 (長期休業中は12:30～16:30)

- ★2階・視聴覚室ではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます。
- ★CDは貸出もしていますので、1階・カウンターにて手続きをしてください。
- ★DVD等、一部資料は館内利用のみとなっています。複数で鑑賞をしたい場合は2階・グループ学習室をご利用ください。

ナクソク・ミュージック・ライブラリー (NML) を使ってみよう！

平成27年6月1日から運用開始

NMLはクラシックを中心に165万曲以上を自由に聴ける音楽データベースです。
図書館視聴覚室で利用できるほか、自宅のパソコンからでもサービスが利用できます。
ただし、音源のダウンロードは著作権上の問題によりできません。
詳しい内容は、図書館までお越しください。



学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ「学生選書ツアー」(毎年2回実施)を昨年11月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計110冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧ください。



学生選書ツアーに参加して

国際総合学科 1年 竹本 慧璃奈

キャリアデザインの担当の先生からこの学生選書ツアーを知りました。大学の図書館に所蔵する本を自分が選ぶといった機会はあまりないので、是非参加してみたいと思い、今回参加させていただきました。選書は他学科の学生たち数人と大分フォーラスにあるジュンク堂書店で行いました。選書が始まるとみんな真剣な眼差しで本を探していました。自分のお気に入りの本や気になっていて予め調べておいた本、表紙やタイトルに惹かれてその場で選んだ本、読んでもらいたい本など、たくさんの思いが詰まった本が集まりました。

選書を行った数日後、学校で集まり、意見交換会を行いま

した。意見交換会では、学生それぞれの本に対する思いやエピソードをたくさん聞くことができました。そこからは選書ツアーに対する熱意が強く感じられました。また、私自身も意見を発信することが出来ました。私は元々本を読むのが大好きでしたが、高校生になる頃から、部活や学校の勉強に追われて、本を読む時間が以前よりも少なくなっていました。この選書ツアーを通じて本を読むことの楽しさ、興味深さを再び呼び起こしてくれました。大学に入り、時間に少し余裕ができた今、積極的に図書館を利用しようと思いました。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 堀 直輝

『茶室とインテリア』

内田繁 著 529.02/U14

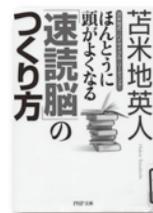
普段ほんやりと感じている「日本らしさ」の由来を西洋との比較、日本の慣習を引き合いに出して分かりやすい言葉で伝えています。何もかも明白になりすぎて失われつつある日本人が持っていた「感受性」について考え、現代のライフスタイルを見直す良い機会になると思います。



『ほんとうに頭がよくなる「速読脳」のつくり方』

苫米地英人 著 019.13/To49

「本は嫌いだ」「本を読むのは面倒くさい」そう思っている人にオススメです。この本さえ読めば、本を読む「メリット」を教えてください。「速読なんて飛ばし読みに過ぎない」と感じている人には、真の速読を教えてください。この本を読み終える頃には、本を読みたくてしょうがなくなると思います。



美術科 2年 田中 希波

『イスラームから見た「世界史」』

タミム・アンサーリー 著 227/A49

この本は、イスラム教の始まりから近年の中東情勢まで幅広く、わかりやすく書いてあります。ISISによるテロがヨーロッパの様々な国で起こっています。中東の国々で何が起きているのか、気になる方は手にとってみてください。



『自由からの逃走』

エーリッヒ・フロム 著 361.4/F48

近頃「表現の自由」という言葉をテレビで耳にしました。私はアートを学んでいる学生です。そのため、自由という言葉の真の意味に興味があります。タイトルにも惹かれた本書は、著者の国で起こっていた政治的出来事と、日常での出来事を例に「自由」について書いています。学生の時に読むべき本だと思います。ぜひ読んでみてください。



『クビキリサイクル：
青色サヴァンと戯言遣い』

西尾維新 著
913.6/N86



クビキリサイクルは人間シリーズの1作目です。作者の出す本は文章がとても読みやすく、登場人物同士の掛け合いが面白いものが多く、この本もその一つです。この作者が好き、本が好きという人には勿論、ミステリーをあまり読まない、普段本を読まないという人に薦めたい本です。

『リヴァイアサン：
クジラと蒸気機関』

スコット・ウエスターフェルド 著
933.7/W62



壮大な世界観で描かれるストーリーは王道だが、とても面白く、引き込まれていく感じがしました。SFモノは読んだことがなかったため、描かれている美しい挿絵は、例えば冒頭のクラゲ等の遺伝子を組み込んだ気球のようなものなどの描写をイメージする際にとても助かるものになりました。

『The Wizard of Oz』

L.Frank Baum 著
933/B28



カンザスに住む少女ドロシーと愛犬トトが家ごと竜巻で異国へ飛ばされます。ドロシーはもとの国へ戻りたいと願い、願いを叶えてくれるという「オズの魔法使い」の元へとトトと共に旅に出るという物語です。後に出会う新たな仲間たちと共に旅し、協力し合う中で強くなっていくドロシーたちの様子が見所です。

『ハリー・ポッターと呪いの子』

J.K.ローリング、
ジョン・テイファニー、ジャック・ソーン 著
933/R78



シリーズ8番目の物語。「ハリー・ポッターと死の秘宝」での戦いから19年経ち、父親となったハリーが二人目の子どもをホグワーツ魔法学校へと送り出した後の物語です。魔法省での激務、ジニーの夫として、また三人の父親として大変な日々を過ごすハリー。子どもたちに襲いかかる過去と現実。今までのシリーズとは一味違った作品となっています。

『おとな小学生』

益田ミリ 著 914.6/Ma66



この本は、作者が子供の頃に読んで思い出の絵本にふれながら、確かにあったけれど、自分が大人になってしまふといつの間にか忘れてしまう子供時代の感情を、正確に再現されている本です。懐かしさに触れることが出来、優しい気持ちになれる一冊だと思います。

『さるのこしかけ』

さくらももこ 著 914.6/Sa46



冷めた鋭い目線で物事をとらえ、何気ないことを馬鹿馬鹿しいこととして書いているさくらさんの、笑いを抑えるのが大変なくらい面白い作品でした。「おとな小学生」と同様に読みやすい文庫本で、表紙がかわいい点もおすすめの一つです。

『遠い唇』

北村薫 著 913.6/Ki68



日常に潜んでいる謎を描く作家である北村薫さんの最新作です。小さな謎を読み解くと心に優しい光が灯るような、心地よいやわらかな気持ちになります。短編集なのでとても読みやすくおすすめです。コーヒーなどの温かい飲み物とお菓子とともに、ゆっくり読みたい一冊です。

『お店の解剖図鑑』

高橋哲史 著 526.67/Ta33



様々なお店のデザインが書かれています。一見難しいお店の演出ですが、可愛い絵や図で解説しているのでわかりやすいです。お店を自分でデザインしたいと思っている人はもちろん、利用者側としていいお店がそうでないかを見分ける基準も分かるので、とても面白く読めます。

『ヒーローズ (株) !!!』

北川恵海 著 913.6/Ki63



こんな仕事があったらおもしろそうだと思います(笑)。ヒーローをつくる会社で働き始めた主人公は過去や今に悩みを抱えた人たちと出会っていくなかで、人のいいところにも悪いところにも気づいていきます。同時に人生についても考えさせられます。読んだ後は元気になれる人生応援ストーリーです。

『にじゅうよんのひとみ』

吉田恵里香 著
913.6/Y86



24歳の誕生日を迎えたひとみの前に現れた0歳のヒトミ。一時間ごとに一つずつ年をとっていくヒトミと昔の自分を重ねていくにつれ、自分のいい加減さやダメなところを改めて突きつけられます。成長していくヒトミとともに今の自分にケジメをつけ前に進もうとするひとみの姿が描かれています。ひとみががんばれ!!と思えるストーリーになっています。

『ミック！：
いつまでもあそべるかくれんぼ絵本』

ジーン・マルブーロ 文
ウォルター・ウィック 写真
726.6/Ma59/1



子供向けかくれんぼ絵本「ミック！」の世界観は、大人も楽しめる作品です。デザイン作品を制作するうえでも、多くのインスピレーションを受けました。写真の中に隠れているものを探すだけというシンプルな絵本ですが、読めば読むほど、新しい発見ができる絵本だと思います。

『伝わる
インフォグラフィックス』

リンクアップ、
グラフィック社編集部 編
727/R45



インフォグラフィックをご存知ですか？インフォグラフィックとは情報、データを視覚的に分かりやすく表現したものです。この本には、データが明確に、そして面白いデザインが多く載っています。毎日、何気なく目にするデザインの一つひとつに工夫が凝らされていることが分かります。

こんな本が新しく入りました

2016年10月～2017年3月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	学科	図書ラベル	書名
美術科	007.642/A49	実践!ハイエンド3D アニメロイドモデリングの鬼著	音楽科	760.9/W79	誰が音楽をタダにした?: 巨大産業をぶっ潰した男たち ステイーヴン・ウィット著
	141.72/Ma82	仕掛学: 人を動かすアイデアのつくり方 松村真宏著		762.35/A18	ピアニストは語る ヴァレリー・アフアナシエフ著
	377.28/N76	最後の秘境東京藝大: 天才たちのカオスな日常 二宮敦人著		C/7793	歌劇「ばらの騎士」組曲[CD] 武田兎、樋口孝博指揮
	701.5/Z1	スカルプターのための美術解剖学 アルディス・ザリンス著		C/7791	伝説の響き[CD] 山角浩之
	709.1/O24	アートプロジェクトの悩み 小川希編		C4.28/Ita/ZO/1	イタリア歌曲集 =Arie antiche italiane 編集, 畑中良輔
	727/P15	わかりやすく情報を伝えるための図とデザイン PIE BOOKS編著		B8.32/Aku'Y/OT	弦楽のための三楽章 芥川也寸志
	914.6/A63	過去をもつ人 荒川洋治 著		B8.42/Roo/DH 1/102.102/102	Poème Montagnard =モンタニャールの詩 Jan Van der Roost
国際総合学科	190.4/E59	私のイエス: 日本人のための聖書入門 遠藤周作著	情報コミュニケーション学科	141.6/Sh49	人はなぜ笑うのか: 笑いの精神生理学 志水彰, 角辻豊, 中村真著
	302.21/Si8	なぜ日本の「ご飯」は美味しいのか: 韓国人による日韓比較論 シンシアリー著		150.21/N84	品格の原点: いまなぜ「日本道徳論」なのか 西村茂樹著
	302.36/Ka96	スペイン文化事典 川成洋, 坂東省次編		361/F93	古市くん、社会学を学び直さない!! 古市憲寿著
	318.93/Ta42	ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか 高松平蔵著		507.2/Sh49	Q&A商標・意匠・不正競争防止の知識100問 清水節, [ほか] 編著
	807/Ku72	寝るまえ5分の外国語: 語学書評集 黒田龍之助著		780.7/I27	いまどきの子のやる気に火をつけるメンタルトレーニング 飯山暁朗著
	929.13/Ki31	楽器たちの図書館 キム・ジュンヒョク著		360/Pu	Project X [映像資料] NHK制作・著作
	778(J)/Sh	植物図鑑 [映像資料] 三木康一郎監督: 有川浩原作		775/Ge	花の紅天狗 [映像資料] いのうえひでのり演出
図書館	209/C58	ビッグヒストリー: われわれはどこから来て、どこへ行くのか デヴィッド・クリスチャン著	図書館	611.4/Ta33	都市と地方をかきまぜる: 「食べる通信」の奇跡 高橋博之著
	371.3/N37	「学力」の経済学 中室牧子著		764.3/Sa14	名曲の真相: 管楽器で読み解く音楽の素顔 佐伯茂樹著
	406.9/Mi49	見る目が変わる博物館の楽しみ方 矢野興一 [ほか] 編著		815.2/I26	日本の助数詞に親しむ: 数える言葉の奥深さ 飯田朝子著
	501.83/F72	工芸とデザインの境目 深澤直人監修		913.6/O65	蜜蜂と遠雷 恩田陸著

図書館職員注目の一冊

『ミライの授業』

著者が中学3年生向けに行った講義をまとめたものなので手軽に読むことができますが、短大生の皆さんにも十分読み応えがある内容です。現在の延長線上に未来はないという視点から、世界を変えた19+1人の偉人を紹介しながら、「未来をつくる」ために必要なキーワードを知ることができる本です。(みよし)

瀧本哲史 著
159.7/Ta73



『わかりあえないことから: コミュニケーション能力とは何か』

企業が新卒学生に求める能力の1位は、13年連続で「コミュニケーション能力」だそうです。でも、そもそもコミュニケーション能力って何? コミュニケーションがうまくいく=わかりあえる? 日本人が抱えがちな矛盾について分かりやすく論じていて、メカラウロコ!な内容です。(にのみや)

平田オリザ 著
361.4/H68



『跳びはねる思考: 会話のできない自閉症の僕が考えていること』

重度の自閉症という障害を抱えながら、作家として注目される東田さん。その障害に起因するコントロールできない感情や行動とは対照的に、彼の文章はとても静かで穏やか、読み手に安らぎすら感じさせます。自閉症者の思考を理解できる貴重な証言であると同時に、私たちのふだん何気ない生き方に新しい気づきを与えてくれる一冊です。(おの)

東田直樹 著
914.6/H55



『ズ切本』

表紙の文字からすでに苦しみが伝わってくる、タイトルそのまま「ズ切」の本です。言い訳を重ねたり缶詰めになったり、編集者との熱い攻防戦を繰り広げたり...誰もが知る文豪から現代の作家まで、ズ切にまつわるエッセイや手紙などをまとめた「しめきり症例集」。読むと前向きな気持ちになれます。(たかとう)

左右社編集部 編
914.68/Sa99



部門別 年間ランキング発表!

(2016年4月～2017年2月集計)

図書

▼ 図書館の分類ごとに、一番貸出の多かった図書を発表します!

0 総記	頭にやさしい雑学読本	竹内均著
1 哲学	「なるほど!」とわかるマンガはじめての他人の心理学	ゆうきゆう 監修
2 歴史	森が語るドイツの歴史	カール・ハーゼル著 山藤光晶訳
3 社会科学	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2018	尾藤健著
4 自然科学	「昨日の疲れ」が抜けなくなったら読む本： ここからだをリセットする42の新習慣	西多昌規著
	ただゴロゴロと寝ているだけでは疲れは取れません。疲れているのは身体だけではない、心も疲れているからです! そんな人へ、精神科医が贈る『上手な休み方』の本です。貴重な休日を上手に休んで、元気に活動再開です!	
	超常識の方法：頭のゴミが取れる数学発想の使い方	小室直樹著
5 技術・工学	プロダクトデザインのためのスケッチワーク	増成和敏著
	パリで学んだ「暮らしの質」を高める秘訣	ジェニファー・L・スコット著 神崎朗子訳
6 産業	「観光まちづくり」再考：内発的観光の展開へ向けて	安福恵美子編著
	観光情報学入門	観光情報学会編
7 芸術・美術	「源氏物語」の色辞典	吉岡幸雄著
8 言語	フランス語が面白いほど身につく本	中野久夫著
	第1位 君の臍臓をたべたい	住野よる著
9 文学	第2位 また、同じ夢を見ていた	住野よる著
	同率 第3位 「10の奇妙な話」 ミック・ジャクソン著 「ハニービターハニー」 加藤千恵著 「何者」 朝井リョウ著 「小説 君の名は。」 新海誠著	

雑誌

▼ 毎年貸出の多かった雑誌を第3位まで発表しているのですが、今年度はなんと同率1位が3誌! そのすべてをまとめて紹介します♪バックナンバーは雑誌コーナーと2F第一書庫に置いてありますので、チェックしてくださいね!

第1位

デザインノート
デザインのメイキングを扱う雑誌です。ロゴやマークなどのデザイン、写真・動画のテクニックなど、デザインに関する様々なことを特集し紹介しています。

CG WORLD
CGや映像を専門とした雑誌です。デジタルによる動画編集だけでなく、アナログによる映像制作に必要なノウハウや、業界の動向などを掲載しています。

別冊太陽スペシャル
図書館の中でも古株の、大判のヴィジュアル系ムックです。不定期発行ですが、特集ごとに深くテーマを掘り下げているので、一冊からでも気になる世界にどっぷりと浸かれます。

映画

▼ 図書館内視聴室またはグループ学習室で視聴の多かった映画DVDを第3位まで発表します! (*DVDの館外貸出は行っていません)

第1位

バルタザールどこへ行く (フランス映画・95分)
第1位は、一頭のロバの物語。愛らしい少女マリーに可愛がられていたロバのバルタザール。しかしやがてバルタザールもマリーも、残酷な運命に翻弄されていきます。

第2位

バケモノの子 (アニメ・119分)
第2位は、2015年夏に公開され話題となった細田守作品。バケモノの世界に迷い込んだ少年が、バケモノに弟子入りし、絆を深めながら心も体も成長していく感動の物語です。

第3位

マイ・インターン (アメリカ映画・121分)
3位タイは、「マイ・インターン」。とても優秀な女性CEOと、シニア・インターンで就職した老人との交流を描いた心温まるコメディ映画です。

告白 (日本映画・106分)
3位タイは、湊かなえ原作の「告白」。娘を殺された女教師による復讐を描いたミステリーです。

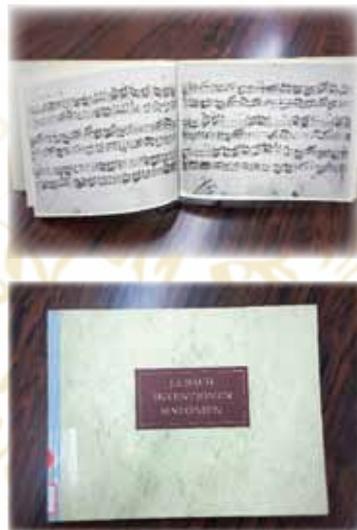
図書館の

お宝紹介

(第3回) 『バッハ自筆の楽譜!』

第1回に続き、J.S.バッハ (1685-1750) のお宝です。今回はバッハの直筆の楽譜を紹介いたします。バッハといえば、ピアノを習うと必ず弾くことになる『インヴェンションとシンフォニア』という曲集がありますが、実はバッハ自身の筆で清書した楽譜が残っているのです。オリジナルは誰でも手にとって見るというわけにはいきませんが、現在では複製技術により容易にアクセスできるようになりました。図書館の第1閲覧室窓際に、貴重書が納めたガラス戸付きのロッカーがありますが、この『インヴェンションとシンフォニア』の復刻本もここにあります。鍵がかかっているため閲覧したいときはカウンターに申し出る必要がありますが、生涯に1000を超える作品を作曲したバッハの筆跡とはどんなものだったのか。また現在と違って音部記号もいろいろなものが使われていて面食らうかもしれませんが、当時の音楽活動の一端に触れることができるとと思います。

(小川伊作/音楽理論)



本や楽譜などの資料の
購入リクエストはMyOPACの
購入希望 から受付しています!

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。まずはリクエストを送ってみてください!



ほん太

5月は図書館祭り
図書館へ行こう!

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.28

発行日 2017年4月1日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
http://www.oita-pjc.ac.jp/library/
図書館キャラクターデザイン: 若杉郁子